

## 平成25年度上半期の進捗状況等(観光分野)

分野：観光分野

テーマ：地域観光の推進（要素1、関連要素2）

【概要・目的】

全国からの誘客の目玉となる観光拠点を中心とした県内の地域周遊が進み、観光消費が拡大することを目指して、核となる観光拠点の整備や観光資源の発掘・磨き上げをはじめ、地域の特色ある観光商品の造成や販売を通じた地域観光の担い手の育成や広域観光を推進する広域観光組織の機能強化に取り組む。

平成24年度の取り組みの成果等

成果

- ◆観光拠点整備事業において、「海洋堂ホビー館」に隣接する旧打井川小学校校舎の改修により、H25以降、企画展示及び多目的スペースを活用した体験プログラム等団体客の受入が可能となった。
- ◆観光人材育成塾「とさ旅セミナー」に270名が参加し、周遊プランを造成した。地域自身が旅行会社等にセールスした結果、12の旅行会社で商品化された。（朝日旅行、愛媛新聞旅行、リョービツアーズ、旅のたけだ屋、フジトラベルサービス、JR四国、日本旅行赤い風船、近畿日本ツーリストメイト、JTBエース、ビッグホリデー、ホワイトベアー・ファミリー、農協観光）
- ◆エリアキャンペーンを通じて、各地で新たな観光商品が生まれ、旅行商品化に結びついた。（例：仁淀川地域の旅行商品化：読売旅行5プラン、阪急交通社3プラン、フジトラベル5プラン等、室戸ジオパークを巡るスペシャルジオツアーの旅行商品化5件等）
- ◆H25エリアキャンペーンに向けた観光商品の造成（日本一の願掛け絵馬（嶺北）、BBQ広場の充実、屋形船の増船（仁淀川）、よさこい情報交流館オープン、土佐の日曜市チケット（高知市）など）
- ◆地域コーディネート組織（広域観光協議会等）の機能強化を図る中で、地域主体で博覧会を実施しようという動きが出てきた。  
○幡多地域：H25.7～12 高知・西南地域観光キャンペーン「楽しまんと！はた博」の実施  
○東部地域：平成27年度に地域博覧会を実施予定

課題

- ◆とさ旅セミナープランなど地域の観光商品のさらなる磨き上げと新たな観光商品づくり
- ◆地域コーディネート組織（広域観光協議会等）の状況に応じた組織機能の強化

平成25年度の到達点

★一人当たり観光消費額 H20：25,459円→H25：27,500円

平成25年度上半期取り組み状況

取り組み状況

- ◆核となる観光拠点の整備：新たな観光拠点の整備  
○東部：室戸ジオパーク拠点施設の整備（26年度竣工予定）  
基本設計・実施設計・工事着手  
○中部・西部：新たな観光拠点の検討
- ◆エリアキャンペーン等に向けた観光商品づくり  
○高幡エリアキャンペーン（H25.7～12）  
海洋堂ホビー館リニューアル、梶原千百年物語り、四万十ポークどんぶり街道スタンプラリーなど  
○四万十・足摺エリアキャンペーン（H25.7～12）  
「楽しまんと！はた博」での体験プログラムの造成やイベントの磨き上げ、新たな観光商品づくり（グルメクーポン、宝探しゲーム、期間限定プログラム等）  
○物部川エリアキャンペーン、室戸ジオ・高知東海岸エリアキャンペーン（H25.10～26.3）  
ドルフィンセンター、田野屋塩二郎等のリニューアル施設を中心としたキャンペーン企画の協議
- ◆観光人材育成塾「とさ旅セミナー ステップアップ研修」開催  
地域を売り込む取組（地域博覧会等）を通じて、地域の事業者等と連携し、観光商品づくりやセールスなどの取組を行う地域観光の核となるリーダーの育成を図る  
・対象者 各広域観光組織や観光協会の職員等39名  
・開催エリア 3エリア（東部9名、中部22名、西部8名）  
・期間 平成25年6月～（26年2月）エリアごとに各7回  
・内容 地域（3エリア）の取組に応じてプログラムを企画  
セミナー 東部：6/13, 14, 28, 7/25、中部：6/13, 7/1, 2, 9/19（予定）、西部：6/24, 25  
はた博視察調査（東部・中部）8/22
- ◆地域コーディネート組織（広域観光協議会等）の機能強化  
・観光アドバイザーの活用による機能強化（5/27～29, 7/17～19, 9/24～27（予定））  
・とさ旅セミナーによる地域リーダーの育成（6/13～）  
・地域博覧会の開催を通じた機能強化  
「楽しまんと！はた博」開催、東部博覧会開催に向けた準備

課題

- ◆とさ旅セミナープランなど地域の観光商品のさらなる磨き上げと新たな観光商品づくり
- ◆地域コーディネート組織（広域観光協議会等）の状況に応じた組織機能の強化

平成25年度下半期の取り組み（予定）

- ◆核となる観光拠点の整備  
新たな観光拠点の整備  
東部：室戸ジオパーク拠点施設の整備 基本設計及び実施設計  
中部・西部：新たな観光拠点の検討
- ◆H25 エリアキャンペーンの実施（H25.10～26.3）  
物部川エリアキャンペーン、室戸ジオ・高知東海岸エリアキャンペーンの実施
- ◆観光人材育成塾「とさ旅セミナー ステップアップ研修」の開催  
地域（3エリア）の取組に応じたプログラムの実施  
・セミナー（観光商品造成、プロモーション、組織マネジメント等）  
・旅行会社へのセールス活動  
・一般客対象のモニターツアー実施（中部）  
・東部博覧会の基本計画案の作成（東部）  
・「楽しまんと！はた博」終了後のイベント等の企画提案（西部）  
・雑誌・ネット等での商品PR・成果発表会等
- ◆地域コーディネート組織（広域観光協議会等）の機能強化  
各組織の状況に応じた機能強化や体制整備への支援  
・観光アドバイザーの支援による組織の機能強化  
・とさ旅セミナーによる地域リーダーの育成と活動への参画  
・地域博覧会の開催を通じた組織、機能の強化  
「楽しまんと！はた博」の実施、東部博覧会開催に向けた準備  
・コンベンション協会との連携によるプロモーションやセールス活動等の支援

【目指すべき姿（平成27年度末）】

- ◆地域の誘客の目玉となる観光拠点が整備されることで、そこを目指して全国から多くの観光客が訪れるとともに、広域エリアで観光拠点を中心とした地域周遊が進み、県下各地で観光消費が拡大している
- ◆核となる観光拠点の整備 県内7か所
- ◆地域観光の担い手が育ち、特色ある観光商品が次々と生み出されている
- ◆地域資源を観光に活用する取組が進んでいる
- ◆県内の地域周遊が進み、道の駅や直販所などでの観光消費が拡大している
- ◆県内各広域エリアで作られたプランが旅行商品化される
- ◆観光産業を担う人材が育成される（人材育成塾の参加者 200名/年）
- ◆観光ガイド団体の会員数が増加するとともに、レベルアップとガイドメニューの充実が図られる
- ★一人当たり観光消費額 H20：25,459円→H27：27,500円

直近の成果（アウトカム等）

- ◆核となる観光拠点の整備 ・東部：室戸ジオパーク拠点施設整備事業（H23～24 基本計画策定、H25 基本設計・実施設計・工事着手、H26 完成）  
・中部・西部：新たな観光拠点の整備について検討に着手
- ◆観光人材育成塾「とさ旅セミナー ステップアップ研修」開催 参加者計39名
- ◆地域コーディネート組織（広域観光協議会等）の機能強化 「楽しまんと！はた博」の実施

分野： 観光分野

テーマ： 効果的な広報・セールス活動の推進（要素 1、要素 4）

【概要・目的】

これまでの博覧会の開催を通じて培った広報・セールス活動のノウハウを生かしながら、旅行マーケットの動向を踏まえつつ、ターゲットにあわせた効果的な広報やセールス活動を展開していく。

平成 24 年度の取り組みの成果等

成果

- ◆「リョーマの休日」の推進  
「志国高知 龍馬ふるさと博」(～H24.3.31) 終了後の県観光を効果的に PR するため、観光キャンペーン「リョーマの休日」を推進。季節ごとに地域の魅力を発信するエリアキャンペーンを企画し、地域の観光関係者などとともに、首都圏、関西圏、近隣県などを対象にした旅行会社向けセールスキャラバンを実施した結果、  
・室戸ジオパークや仁淀川など新たな観光素材の旅行商品化が実現し、県内各地域への誘客が進んだ  
・「龍馬パスポート」の取得を目玉とする新たな旅行商品化が実現した  
⇒ 歴代 3 位となる約 384 万人の県外観光客数を達成
- ◆「龍馬パスポート」を活用した県内周遊・リピーターの促進  
・「龍馬パスポート」利用者数：30,297 人 (H24 年度)  
・県外利用者の割合：72%  
⇒ 想定 6 倍を超える利用、県外からの誘客にも効果を発揮
- ◆首都圏等のマスメディアでの情報発信  
全国における県観光の認知度を向上させるため、首都圏等のマスメディアへの情報発信を強化  
・メディア露出 33 件 (TV16 件、雑誌 6 件、新聞 3 件、ラジオ 1 件、WEB7 件)  
⇒ 広告換算で約 13 億 6,400 万円の露出効果

課題

- ◆各地域や関係団体との更なる連携強化によるプロモーションの実施
- ◆キャンペーンの県内、県外に向けた効果的な広報の実施
- ◆旅行商品化を視野に入れた次年度エリアキャンペーンの企画、検討

平成 25 年度の到達点  
★リピーターの数 +7.5 万人【50 万人→57.5 万人】  
★首都圏からの観光客数 +21.5 万人【30.5 万人→52 万人】

平成 25 年度上半期取り組み状況

取り組み状況

- ◆「リョーマの休日」の推進  
24 年度に引き続き、「わざわざ行こう！志国高知へ」をキャッチフレーズに、観光キャンペーン「リョーマの休日」を実施
- ◆エリアキャンペーンの実施  
県内各地域への誘客を図るため、季節ごとの地域の魅力を盛り込んだエリアキャンペーンを企画、実施  
※エリアキャンペーンの実施状況  
・「高知市」「仁淀川」「嶺北」エリアキャンペーン (4/1～9/30)  
・「四万十・足摺」「高幡」エリアキャンペーン (7/1～12/31)
- ◆「龍馬パスポート」を活用した県内周遊・リピーターの促進  
・特典施設数約 460 に拡充 (9/1～)  
・地域イベントをスタンプ対象として新たに設定 (4/1～)  
・黒パスポートのプレミアム特典を拡充 (4/1～)
- ◆官民一体となった旅行会社向けセールスキャラバンの実施  
【25 年度下半期向けキャラバン】  
・東京、名古屋 (5/13～14) ・大阪【JR 四国商品説明会】(5/21)  
・福岡、広島 (6/4～5) ・大阪、岡山 (6/25～26)  
・松山、高松 (7/4)
- ◆首都圏等のマスメディアを活用したパブリシティ活動  
県外事務所や地産外商公社と連携し、首都圏等のマスメディアを通じた全国への情報発信を展開  
・メディア各社を集めた情報交換会等の実施 (5/10, 7/8, 7/25, 9/2)  
・県庁でのプロモーション検討会議 (6/3)
- ◆テレビ CM を活用した近隣県への情報発信の強化  
・四国 3 県と岡山県を対象に、毎週木曜日の 18 時台に 30 秒のテレビ CM を放送し、週末の県内でのイベント情報等を発信 (5/9～)
- ◆映画「県庁おもてなし課」を活用したプロモーションの実施  
・全国の映画館 (285 館) 等でロケ地ガイド等を配布 (約 26 万部)  
・東京スカイツリー (4/20, 21)、羽田空港 (5/11) での PR  
・阪急百貨店 (うめだ本店：4/10～16)、京急百貨店 (横浜：4/24～30) 等での催事を活用した PR
- ◆次期誘客戦略の検討  
26 年度以降の誘客戦略について、「リョーマの休日」推進アドバイザー会議など、観光関係者の意見を踏まえつつ検討  
・アドバイザー会議の開催 (5/8, 6/7, 8/2)  
・パーソナル系旅行会社との意見交換会 (8/5～7)

課題

- ◆さらなる誘客の拡大を目指した次期戦略の検討、プロモーションの実施

平成 25 年度下半期の取り組み (予定)

- ◆エリアキャンペーンの実施  
・「高知市」「仁淀川」「嶺北」エリアキャンペーン (～9/30)  
・「四万十・足摺」「高幡」エリアキャンペーン (～12/30)  
・「物部川」「東部」エリアキャンペーン (10/1～3/31)
- ◆「龍馬パスポート」のさらなる拡充  
平成 26 年 4 月以降も「龍馬パスポート」を継続させるとともに、現状の課題も踏まえ、さらなる拡充を図る  
・拡充内容に関する施設等との調整、関係者への周知 (10 月～)
- ◆首都圏等のマスメディアを活用したパブリシティ活動  
・メディア各社を集めた情報交換会等の実施 (11 月下旬)  
・県庁でのプロモーション検討会議 (10 月、2 月)
- ◆次期誘客戦略の検討  
26 年度以降の誘客戦略について、その具体的な推進方策の検討を進める  
・アドバイザー会議の開催 (10 月中旬, 2 月中旬)
- ◆新たな誘客プロモーションの展開  
26 年度以降の誘客戦略に基づき、「食」を前面に出したプロモーション活動を推進する (10 月～)  
・旅行会社向けプロモーション  
【26 年度上半期向けキャラバン (10 月～)】  
東京、名古屋、大阪、岡山、広島、福岡  
・「高知家プロモーション」と連動させたマスメディアへの情報発信  
・近隣県に向けた「食」のイベントの情報発信の強化  
・ターゲットにあわせた「旬の食」特集などの掲載など、旅行情報誌とのタイアップ強化

【目指すべき姿 (平成 27 年度末)】

- ◆ターゲットを明確にした観光プロモーションが継続され高知県の認知度が向上する
- ★リピーターの数 H22:50 万人→H27:65 万人
- ★首都圏からの観光客数 H20:30.5 万人→H27:45 万人

直近の成果 (アウトカム等)

- ◆「龍馬パスポート」の利用者数：40,296 人 (7 月末現在)
- ◆旅行会社向けセールスキャラバン (上期) 旅行会社出席者：117 社、265 人
- ◆首都圏等のマスメディアでの情報発信：メディア露出 21 件 (TV6 件、雑誌 5 件、スポーツ紙 2 件、WEB8 件) (8 月末現在)

分野：観光分野

テーマ：おもてなしの向上（関連要素1）

【概要・目的】

県民挙げてのおもてなし気運の醸成をはかるとともに、きめ細やかな観光情報の提供や交通の利便性の向上など、観光客の快適性を高めるため、ハード・ソフトの基盤整備に取り組む。

平成24年度の取り組みの成果等

成果

- ◆観光ガイド組織の立ち上げに向け、観光ガイドセミナーへ参加するなど観光ガイド連絡協議会との連携が生まれた（大月町）
- ◆ガイドの意識や質の高さが評判となり、県外から頻繁に視察が訪れた（室戸市観光ガイドの会）
- ◆“おもてなしトイレ”の認定を行うことで、おもてなしのトイレが拡がるとともに、気運の向上につながった（認定トイレ：529件（3/31））
- ◆タクシー、ハイヤーの接客向上を目指した取り組みにおいて、タクシー利用者からの聞き取りや車内搭載ハガキ等の調査結果をタクシー業界にフィードバックすることにより、改善を必要とする乗務員のみへの指導にとどまらず、事業所全体で改善に取り組む動きが見られ始めた。
- ◆広域観光案内板を設置したことで、周遊観光への誘因の一助となった。（にこにこ館（いの町））

課題

- ◆ガイド団体の技術の向上
- ◆ガイド団体の新たな立ち上げを支援しそ野を広げる
- ◆タクシードライバーの質とおもてなしタクシーの認知度の向上及び利用促進

平成25年度上半期取り組み状況

取り組み状況

- ◆観光ガイドの育成、技術の向上
  - ・観光ガイド連絡協議会での連携等に向けた意見交換（5/27：第3回総会）
  - ・地域別研修会（西部）（7/30）
- ◆おもてなしの気運の醸成
  - ・映画に関する取材等によるマスコミ等を通じた啓発
  - ・おもてなし県民会議の開催（7/19）
  - ・おもてなしトイレ認定事業募集および既認定トイレ再チェック
  - ・高知空港での横断幕等による歓迎やパンフレット配布（8/8～8/11、8/13～8/15）
- ◆きめ細やかな観光情報の提供
  - ・「とさてらす」での観光案内
  - ・映画「県庁おもてなし課」ロケセットでの観光案内（4/20～9/23）  
入場者：30,534人（8月末現在）
  - ・臨時観光案内所を設置しパンフレットの配布や観光案内を実施（GW・盆休み期間等：南国SA、淡路SA、高知城周辺、8/10：大型客船「ばしふいっくびいなす」船内）
  - ・タクシー車内に観光パンフレット専用ラックを設置（5/21～）
- ◆県内の観光地を結ぶ移動手段の確保
  - 「おもてなしタクシー」（観光ガイドタクシー）の利用促進
    - ・大型外国客船来港時に専用レーンを設置（4/23、5/9）
    - ・「龍馬パスポート」への参画（9月～）
    - ・「楽しまんとはた博」に合わせたタクシーの周遊プランの情報提供や旅行商品への組み込み
  - タクシーの接客向上を目指した取り組み
    - ・調査員による降車客からの聞き取り（高知駅、高知空港、イオン高知）、車内搭載専用ハガキ等による意見受付とその調査結果を事業者へフィードバック（4～9月）
- ◆観光基盤の整備
  - 県外観光客に対し満足度調査（アンケート調査）を実施
    - ・大型客船乗船者への聞き取り調査（4/23 サンプル数：51）
    - ・満足度調査の実施および事業者へのフィードバック（4～6月サンプル数：343、7～9月サンプル数：900（予定））
    - ・置き型アンケート調査の実施（通年 実施場所：とさてらす）
  - 市町村が設置する観光案内板等の整備などへの助成
    - ・5/2 募集開始～5/24 締切（16市町村、20事業の申請）
  - 広域観光案内板等の設置等
    - ・広域観光案内板等の移設（1基）実施、設置（1基）予定
    - ・外国人旅行者への滞在時ネット無線LANの環境提供（Wi-Fiカードの配布、6/15～8/24 韓国チャーター便）
  - 多言語用観光パンフレット支援システムの利用向上
    - ・コパソック協会（5/23）、貿易協会会員等への利用案内（6/2）

平成25年度下半期の取り組み（予定）

- ◆観光ガイドの育成、技術の向上
  - ・おもてなしセミナーの開催支援
  - ・観光ガイド地域別研修会の開催支援（中部、東部）
  - ・観光ガイド個別研修会の開催支援
- ◆おもてなしの気運の醸成
  - ・おもてなしセミナーの開催支援【再掲】
  - ・おもてなし一斉清掃の実施（10/11）
  - ・高知空港での横断幕等による歓迎（秋行楽シーズン、ねんりんピック時など計13日間）
- ◆きめ細やかな観光情報の提供
  - ・臨時観光案内所を設置しパンフレットの配布や観光案内を実施（土佐の豊穰祭2013in高知市、ねんりんピック、その他スポーツイベント等）
- ◆県内の観光地を結ぶ移動手段の確保
  - ・「おもてなしタクシー」（観光ガイドタクシー）の認定（10月）・更新（11月）
  - ・「おもてなしタクシー」（観光ガイドタクシー）の利用促進（客船来港時の専用レーンの設置）
  - ・タクシーの接客向上に向けた取り組み（降車客への聞き取り、ハガキ等による意見受付および事業者へフィードバック（7月～H26年3月））
  - ・おもてなしタクシードライバー表彰（2月）
- ◆観光基盤の整備
  - ・県外観光客満足度調査の実施および関係事業者へのフィードバック
  - ・広域観光案内板等の設置（1基）を実施
  - ・市町村が設置する観光案内板等の整備などへの助成（～H26年3月）
  - ・多言語用観光パンフレット支援システムのID申請について情報発信（産振セツ、中央会等を通じた県内企業への情報発信）

【目指すべき姿（平成27年度末）】

- ◆県民発意によるおもてなしが県内に拡がり各地で活動が見られる
- ◆ホスピタリティを感じる観光客が増加し、リピーターにつながる
- ◆観光ガイド団体の会員数が増加するとともに、レベルアップとメニューの充実が図られる
- ◆高知県観光ガイド連絡協議会の事務局体制が確立する
- ◆核となる拠点エリアにおいて、一元的に地域の観光情報を収集発信する観光案内所が整備されている
- ◆おもてなしタクシーの認定ドライバーが増加する
- ★観光客満足度調査の各調査項目において「大変良い」、「良い」と回答した割合がH22の値を毎年上回る

平成25年度の到達点

★観光客満足度  
「大変良い」「良い」の割合がH22のデータを上回る

直近の成果（アウトカム等）

- ◆映画「県庁おもてなし課」ロケセット入場者30,534人（8月末現在）。アンケート結果によると、県外からの入場者のうち、映画が高知県を訪れたきっかけに、「大いに関係する」または「まあまあ関係する」と応えた割合は約70%（8/12現在）
- ◆タクシー降車客からの聞き取り等の調査結果フィードバックすることにより、聞き取り開始当初（12月）と比較して全項目で改善がみられる。
- ◆多言語用観光パンフレット支援システムへのID申請数29件（7/31現在）。

【概要・目的】

スポーツツーリズム推進のため、プロスポーツやアマチュア合宿・大会の誘致、地域密着型のイベント開催など通年を通じた取り組みを図る。

平成24年度の取り組みの成果等

成果

- ◆スポーツツーリズムの推進による成果  
⇒約14,900泊（新規入込客数）
- ①ミズノグローイングアップリーグの開催（U-18サッカー大会）
- ②コグウェイ四国
- ③西日本高校女子ソフトボール高知合宿
- ④韓国小中学校硬式野球部（イチョン市、ソウル市）
- ⑤高校弓道合同合宿
- ⑥京都大学硬式野球部合宿
- ⑦高知龍馬マラソン
- ⑧四万十・足摺無限大チャレンジライド
- ⑨プロ野球プレシーズンマッチ4試合
- ⑩日本陸上競技連盟ジュニア強化合宿

課題

- ◆プロ野球1軍による2次キャンプ誘致及びプレシーズンマッチの継続開催
- ◆アマチュアスポーツ合宿誘致の更なる拡大（特に室内競技）
- ◆スポーツツーリズムの推進に必要な施設整備

平成25年度上半期取り組み状況

取り組み状況

- ◆庁内PT（プロジェクトチーム）検討会の開催（5/8）  
〔観光振興部、財政課、政策企画課、南海地震対策課、公園下水道課、スポーツ健康教育課、県観光CV協会〕  
・施設整備計画の策定、受入体制の充実
- ◆WG（ワーキンググループ）の立上げ（合宿等の誘致に向けた情報交換・収集）  
H24:7WG ⇒ 14WG  
●サッカー：4/5, 4/22, 4/23, 5/9, 6/10  
●野球：5/20, 6/7  
●サイクリング：5/1  
●ラグビー：4/10  
①バスケットボール：4/17, 4/23, 5/7, 5/20, 6/12  
②ドッジボール：4/12  
③フットサル：4/12, 4/16  
④サーフィン：5/23, 6/5, 6/19, 9/4  
⑤トライアスロン：5/29, 6/4  
⑥バドミントン：5/15  
⑦スポーツチャンバラ：6/17
- ◆プロスポーツの誘致活動  
・定期的な訪問によるプレシーズンマッチ等の開催やキャンプ誘致  
プロ野球チーム 12球団訪問（延べ23回）  
プロサッカーチーム 4チーム訪問（延べ5回）  
⇒東京ヴェルディ、アルビレックス新潟、徳島ヴォルティス、セレッソ大阪  
・JBL（ジャパンバスケットリーグ）東芝ブレイブサンダース訪問
- ◆アマチュアスポーツの誘致活動  
・ミズノU-16強化フェスティバル IN 高知 2013 開催  
・高知県ドッジボール協会との合宿等誘致に向けた協議 4/12  
・高知県サッカー協会とのフットサル合宿等誘致に向けた協議 4/12, 4/16  
・高知県バスケットボール協会との合宿等誘致に向けた協議 4/23, 5/2, 5/20  
⇒7/8 関西学院大学、天理大学、7/18 立命館大学、同志社大学、京都産業大学、8/5 立命館大学、同志社大学、京都産業大学  
・高知県バドミントン協会との合宿等誘致に向けた協議 5/15  
・全国高等学校女子硬式野球連盟との大会誘致に向けた協議 5/13, 6/3, 7/30

課題

- ◆プロ野球1軍による2次キャンプ誘致及びプレシーズンマッチの継続開催
- ◆プロギア・レディスカップの継続開催

平成25年度下半期の取り組み（予定）

- ◆庁内PT、WGの開催  
・新競技団体、市町村、旅館組合、施設管理者を加え実施  
・施設整備に関する協議
- ◆プロスポーツの誘致  
○プロ野球キャンプの誘致  
・オリックスバファローズ1軍秋季、春季キャンプ  
・西武ライオンズ1軍春季2次キャンプ  
・西武ライオンズ2軍春季キャンプ  
・阪神タイガース1軍秋季キャンプ、2軍春季キャンプ  
・韓国高陽ワンダース春季キャンプ  
○プレシーズンマッチの開催  
・国内6球団による開催  
○Jリーグキャンプ誘致  
・アルビレックス新潟、東京ヴェルディ、セレッソ大阪、徳島ヴォルティス  
○女子プロ野球春季キャンプ、リーグ戦誘致  
○プロゴルフトーナメント  
・カシオワールドオープンゴルフトーナメント  
・プロギアレディスカップ
- ◆アマ合宿・大会誘致  
・社会人及び大学等の合宿誘致増  
・韓国中高校等の合宿誘致増  
・ラグビートップリーグ合宿誘致  
・ミズノグローイングアップリーグ開催（参加チーム H24:8チーム⇒H25:16チーム）  
・高校女子硬式野球大会誘致
- ◆スポーツイベントの開催等  
・高知県事杯サーフィン大会 IN 平野の開催支援  
・四万十・足摺無限大チャレンジライドの開催支援  
・コグウェイ四国の開催支援  
・高知城女子旅トワイライトランの開催  
・中土佐町タッチエコトライアスロンの開催支援  
・ねりんピックよさこい高知 2013 の開催支援  
・第2回高知龍馬マラソンの開催支援
- ◆2019 ラグビーワールドカップのベースキャンプ誘致に向けた取り組み  
・ワールドカップ組織委員会訪問（情報収集及び会議出席）  
・ワールドカップ開催地訪問及び誘致プロモーション

【目指すべき姿（平成27年度末）】

- ◆様々なスポーツイベントが開催され、新たな観光客の獲得ができている
- ★スポーツツーリズムの推進による新規入込客数2万人

平成25年度の到達点

- ★スポーツツーリズムの推進による新規入込客数1.5万人

直近の成果（アウトカム等）

- ◆スポーツツーリズムの推進による成果（H25.4月～9月）⇒6,607泊  
・ミズノU-16強化フェスティバル IN 高知 2013 開催（4/1-2、160泊）  
・ラグビートップリーグ（NTTドコモレッドハリケーンズ）合宿開催（4/25-5/2、420泊）  
・女子プロ野球春季キャンプ及びリーグ戦開催（4/3-4/14、770泊）

- ・ミズノグローイングアップリーグ IN 黒潮（7/24-26、1,057泊）
- ・第48回全日本サーフィン選手権大会（8/22-25、4,000泊）
- ・高等学校女子硬式野球高知大会（9/14-16、200泊）

分野：観光分野

テーマ：国際観光の推進（要素3）

**【概要・目的】**  
 主要なターゲットである東アジアを中心に、各国の特性と本県の強みをマッチングさせたきめ細かい戦略により、本県への誘致活動を進めるとともに、観光案内版の多言語化や観光事業者への研修を実施するなど受入態勢の充実を図る。

**平成24年度の取り組みの成果等**

**成果**

- ◆国別戦略に基づく誘致活動  
 H22年 15,970人/泊→H24年 18,690人/泊(17.0%増)  
 H23年 12,880人/泊→H24年 18,690人/泊(45.1%増)
- <台湾>  
 国際旅行博での問い合わせ7割増など、これまでより知名度が向上。春(4月、3回)、秋(11月、4回)のチャーターによる誘客849名
- <韓国>  
 チャーター便就航に向けた動き開始(H25年度以降チャーター便(180席乗り)×5回)
- <香港>  
 日本送客NO.1の旅行会社との協議
- <中国>  
 安徽省旅遊局、旅行会社等との観光交流に向けた動き
- <シンガポール>  
 大手旅行会社によるドライブツアーの実施(年3回)
- <共通>  
 国際ジオパークツーリズムネットワークの構築

**課題**

- ◆チャーター便等による団体客の誘致
- ◆高松・松山等の定期便による個人客の誘致
- ◆ジオパークネットワークの確立
- ◆各国のマーケット特性にあった観光資源の発掘
- ◆インバウンド対策の課題の洗い出し
- ◆関係事業者との情報共有とインバウンド対策への熱度向上
- ◆四国4県連携によるプロモーション活動の推進

**平成25年度上半期取り組み状況**

**取り組み状況**

- ◆国別戦略に基づく誘致活動
- <台湾>
  - ・台湾外交部亜東関係協会黄秘書長ほかの高知視察(4/25~27)
  - ・台湾新竹県庁・舞踊団のよさこい祭りへの誘致協議(4~7月)
  - ・日本の観光・物産博2013への高知県ブース出展(5/15~17)
  - ・中華航空広島支店長・高松出張所長との協議(5/28)
  - ・中華航空チャーター便利用ゴルフツアー協議(6月~、9月実施予定)
  - ・台湾ウェブサイト夏キャンペーン開始(7月~)
  - ・台湾新竹県庁・舞踊団のよさこい祭りへ視察・参加(8/9~10)
  - ・台湾旅行会社・メディア招へい事業(9/4~5)
  - ・「遅咲きのヒマワリ」放送協議、実施(9/23~27放映予定)
- <韓国>
  - ・順天湾国際庭園博覧会高知県ブース設置(4/20~7/20)
  - ・t-way航空とのチャーター便協議(5~6月)
  - ・韓国観光公社大阪事務所高知視察・協議(5/23~24)
  - ・航空会社への訪問、協議(5/30、アジア他3社訪問)
  - ・旅行会社との商談会(5/30、8社参加)
  - ・全羅南道観光文化交流協定10周年記念事業(5/31~6/2)
  - ・商談会参加旅行会社の高知モニターツアー(6/15~17 2社参加)
  - ・韓国ウェブサイト夏キャンペーン開始(7月~)
  - ・韓進観光担当者との協議、モニターツアーの実施(8/18~20)
  - ・ジンエアーとのチャーター便協議(9/5~6)
- <香港>
  - ・旅行会社、航空会社とのチャーター便に向けた協議(7/18)
  - ・EGLツアーズ袁社長講演会開催(9/18)
  - ・チャーター便実施に向けたEGLツアーズとの協議(9/18)
- <中国>
  - ・特に動きなし
- <シンガポール>
  - ・四国ドライブツアー(4/12~15、5/10~13)
- <共通>
  - ・四国インバウンド実務者会議(4/18)
  - ・サン・プリンセス船長の高知視察(4/23)
  - ・サン・プリンセス日本代理店社長の高知視察・協議(4/23)
  - ・コスタ・ビクトリア日本代理店との協議(5/9)
  - ・ロイヤル・カリビアン社日本代理店との協議(6/11)
  - ・LCC航空会社との協議(7/11)
  - ・クルーズ客船日本代理店等への会社訪問、誘致協議(8/5~6、7社訪問)
  - ・ジオパークツーリズムネットワーク交流会議(9/10)
- ◆受入態勢の整備
  - ・外国客船受入協議会の実施(5/16、7/1)
  - ・観光案内板、誘導標識、パンフ等の整備(6月~)
  - ・国際観光サポーター会議(7/1)

**課題**

- ◆国別プロモーション戦略の見直し
- ◆高松・松山等の定期便による誘客
- ◆チャーター便等による誘客
- ◆ジオパークネットワークを活用した交流
- ◆関係事業者との情報共有とインバウンド対策への取組強化
- ◆四国4県連携によるプロモーション活動の推進
- ◆LCC、クルーズ客船の誘致

**平成25年度下半期の取り組み(予定)**

**◆国別戦略に基づく誘致活動**

- <台湾>
  - ・航空会社や旅行会社との協議(10月~)
  - ・台北国際旅行博出展、よさこい参加(10/18~20)
  - ・四国1周サイクリングコース設定モニターツアー(10月~)
  - ・台湾ランタンフェスティバル、よさこい参加、商談会開催(2/14~16)
- <韓国>
  - ・航空会社、旅行会社との協議(10月~)
  - ・小中学校野球合宿の協議・調整(10月~)
  - ・済州島オルレ・メディアを招聘してのウォーキングコースモニターツアー(9月)
  - ・済州島オルレと四国コースとの友情の道記念式典(11/18~20)
  - ・全羅南道観光文化交流協定10周年記念事業(高知受入)(11月)
- <香港>
  - ・旅行会社、航空会社とのチャーター便に向けた協議(10月~)
- <シンガポール>
  - ・四国ドライブツアー継続に向けた協議(10月~)
- <共通>
  - ・四国インバウンド実務者会議(10月、2月)
  - ・四国レイルパスを利用したモニターツアー(10月)
  - ・四国インバウンドフェア(商談会11/25、モニターツアー11/26~28)
  - ・レンタカーを活用したモニターツアー(12月)
  - ・インバウンド事業者勉強会(10月)
  - ・プリンセス・クルーズ社、コスタ・クルーズ社、ロイヤル・カリビアン社日本代理店との協議(10月、1月)
  - ・LCC航空会社との協議(10月、1月)

**◆受入態勢の整備**

- ・観光案内板、誘導標識、パンフ等の整備(13市町村、15事業)
- ・外国客船受入協議会の実施(10月、1月、3月)
- ・国際観光サポーターのモニターツアー(10月)

**【目指すべき姿(平成27年度末)】**

- ◆チャーター便が定期的に運行され、外国人観光客が訪問しやすい環境が整う
- ◆観光地や宿泊地等での外国人の受入環境整備が充実する
- ★外国人延べ宿泊者数 H22:1.6万人泊→H27:3.2万人泊

**平成25年度の到達点**

★外国人延べ宿泊者数 H22:1.6万人泊→H25:2.4万人泊

**直近の成果(アウトカム等)**

- ◆韓国・ジンエアー・チャーター便就航(4/29~5/1:113名、6/15~17:125名、8/24~26:142名、10/19~21、12月予定 合計5便予定)
- ◆サン・プリンセス寄港(4/23:1,538名、6/7:1,140名)、コスタ・ビクトリア寄港(5/9:2,104名、9/20予定)
- ◆韓国・t-way航空チャーター便就航(7/13~15)